

令和元年度

(平成30年度事業対象)

刈谷市教育委員会 点検・評価  
報告書

刈谷市教育委員会

# 目次

第1章	点検・評価の概要	P 1
	1 趣旨	
	2 点検・評価の対象	
	3 点検・評価の流れ	
	4 学識経験者の知見の活用	
	5 外部評価の視点、委員に求める意見	
第2章	教育委員会の活動状況	P 4
	1 教育委員会の構成	
	2 教育委員会の開催状況	
	3 その他の活動状況	
第3章	総合計画に基づく施策の評価	P 9
	2 青少年育成	
	3) 青少年の自立支援と社会参加の促進	
第4章	外部評価委員の意見	P37
参考資料	1 教育大綱	P39
	2 組織	P40

# 第1章 点検・評価の概要

## 1 趣旨

平成20年4月1日に施行されました「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、各教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとなり、本教育委員会においても、平成20年度から点検・評価を行ってまいりました。

平成23年度からは、本市で導入している行政評価制度に基づき、市長部局と教育委員会合同で、刈谷市行政評価委員会による評価も実施してまいりましたが、第7次刈谷市総合計画の改定に伴い、令和元年度（平成31年度）から再度、教育委員会独自の点検と評価に変更し、効果的な事務事業の改善につなげていくこととしました。

### 【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

**第二十六条** 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検・評価の対象

### 対象1 教育委員会の活動状況

教育委員会会議及び教育委員の活動について点検・評価を実施。

### 対象2 総合計画に基づく施策

総合計画の基本方針のうち「教育文化分野」に位置づけられた6つの基本施策と、その施策の具体的な内容（以下「小施策」という）、更に小施策を構成する事務事業について、毎年テーマを設け点検・評価を実施。

#### 【教育文化分野に関する総合計画の基本施策と小施策】

基本方針	基本施策	施策の内容（小施策）
教育文化分野	1 学校教育	1) 教育内容の充実 2) 安心・安全で地域に開かれた学校づくり 3) 学校施設・設備の整備・充実 4) 児童生徒へのきめ細やかな対応 5) 学校給食の充実
	2 青少年育成	1) 家庭教育の推進 2) 青少年を取り巻く環境の整備 3) 青少年の自立支援と社会参加の促進
	3 生涯学習	1) 学習機会の充実 2) 学習活動の支援 3) 生涯学習施設の利用促進
	4 スポーツ	1) スポーツ活動プログラムの充実 2) クラブ・団体の育成 3) スポーツ施設の整備・充実・開放 4) スポーツ指導者の育成
	5 文化・芸術	1) 環境・体験の機会づくり 2) 創作・発表の機会づくり 3) 活動の支援体制の充実 4) 文化芸術の拠点づくり
	6 歴史・文化財	1) 刈谷市城址の整備 2) 歴史博物館の整備 3) 文化財の保護・伝承・活用 4) 歴史の啓発

#### 【今年度の評価項目】

評価対象	担当課
(基本施策) 2 青少年育成 (小 施 策) 3) 青少年の自立支援と社会参加の促進	生涯学習課

### 3 点検・評価の流れ

日程	実施内容
4～5月	各課による事務事業評価シートの作成（内部評価）
8月1日	外部評価の実施
8月	評価結果を踏まえた今後の取り組みについて検討
9月	点検・評価報告書の作成
10～11月	点検・評価報告書の公表

### 4 学識経験者の知見の活用

点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされていることから、下記の方を外部評価委員とし、事業の成果や課題、今後の方向性に対する意見をいただきました。

#### 外部評価委員

愛知教育大学 理事（教育・学生担当）・副学長

の だ あつのり  
野田 敦敬 氏

### 5 外部評価の視点、委員に求める意見

#### 外部評価の視点

##### 【現状の分析と課題の考え方】

- ✓市の担当課が実施した事務事業の評価結果は妥当か
- ✓指標の的確性、指標分析の考え方はどうか

##### 【今後の方向性】

- ✓評価結果からの的確な課題への対策となっているか
- ✓小施策の推進に効果的か

#### 意見・提案

- ✓上記の視点での考え方や妥当性等に関する意見を伺う
- ✓既存事業の改善提案や新規事業・施策の提案などご意見を伺う

##### 【総 評】

- ✓事業全体について意見を伺う

## 第2章 教育委員会の活動状況

### 1 教育委員会の構成（平成31年4月1日現在）

職名	氏名	任期	期数
教育長	太田 武司	(平成28年10月1日就任) 平成31年9月30日	3
教育長職務代理者	池田 裕幸	(平成28年10月1日就任) 平成32年9月30日	2
委員	畠 留美	(平成27年10月1日就任) 平成31年9月30日	2
委員	石田 芳加	(平成29年10月1日就任) 平成33年9月30日	1
委員	鶴田 英孝	(平成30年10月1日就任) 平成34年9月30日	1

### 2 教育委員会の開催状況

平成30年度の開催状況は、定例会12回、臨時会2回の合計14回開催しました。定例会及び臨時会での審議内容は、以下のとおりです。

#### 【定例会】

開催日	議 題
4月定例会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○専決処分（刈谷市学校給食センター運営委員会委員の委嘱）</li> <li>○専決処分（刈谷市学校給食アレルギー対応給食事業実施委員会委員の委嘱）</li> <li>○専決処分（学区外就学）</li> <li>○専決処分（刈谷市社会教育委員の委嘱）</li> <li>○専決処分（刈谷市図書館協議会委員の解職及び任命）</li> <li>○専決処分（刈谷市スポーツ推進審議会委員の任命）</li> <li>○専決処分（刈谷市スポーツ推進委員の委嘱）</li> <li>○専決処分（刈谷市立小中学校体育施設スポーツ開放運営委員会委員の委嘱）</li> <li>○専決処分（刈谷市文化財保護審議会委員の委嘱）</li> </ul>
5月定例会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成30年6月刈谷市議会定例会提出議案（平成30年度刈谷市教育費6月補正予算、工事請負契約の締結）に関する意見の聴取</li> <li>○専決処分（学区外就学）</li> </ul>
6月定例会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○専決処分（刈谷市学校給食センター運営委員会委員の解職及び委嘱）</li> <li>○専決処分（刈谷市学校給食アレルギー対応給食事業実施委員会委員の解職及び委嘱）</li> <li>○専決処分（刈谷市スポーツ推進委員の委嘱）</li> <li>○専決処分（学区外就学）</li> </ul>
7月定例会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○刈谷市指定文化財の指定</li> <li>○専決処分（学区外就学）</li> <li>○専決処分（刈谷市スポーツ推進委員の委嘱）</li> </ul>

8月定例会	○平成30年9月刈谷市議会定例会提出議案（平成30年度刈谷市教育費9月補正予算、工事請負契約の締結、教育委員会委員の選任）に関する意見の聴取 ○専決処分（学区外就学）
9月定例会	○刈谷市立幼稚園保育料徴収条例施行規則の一部改正
10月定例会	○平成31年度教職員定期人事異動方針 ○学区外就学 ○専決処分（学区外就学）
11月定例会	○平成30年12月刈谷市議会定例会提出議案（平成30年度刈谷市教育費12月補正予算、工事請負契約の締結）に関する意見の聴取 ○専決処分（学区外就学）
12月定例会	○学区外就学
1月定例会	○学区外就学 ○専決処分（刈谷市社会教育委員の解職及び委嘱） ○専決処分（学区外就学）
2月定例会	○平成31年3月刈谷市議会定例会提出議案等（平成30年度刈谷市教育費3月補正予算、平成31年度刈谷市教育費当初予算、工事請負契約の変更、条例の制定）に関する意見の聴取 ○平成31年度刈谷市の教育一般方針 ○専決処分（学区外就学）
3月定例会	○平成31年3月刈谷市議会定例会提出議案（平成30年度刈谷市教育費3月補正予算）に関する意見の聴取について ○刈谷市学校給食センター処務規則の一部改正について ○刈谷市指定文化財の指定について ○専決処分（学区外就学）について

☞ 上記議題の他、各課定例報告（学校給食献立、児童生徒数、各種行事予定、施設利用状況）、学校で対応に苦慮している案件について意見聴取、市議会及び市民文教委員会の教育に関わる質問事項について報告を適時行い、各委員の立場や考えにより、積極的に意見交換を行っています。

### 【臨時会】

開催日	議 題
9月臨時会	○平成30年10月1日付刈谷市教育委員会人事
3月臨時会	○平成31年度刈谷市教職員人事

### 3 その他の活動状況

項目	内容
総合教育会議	<p>●総合教育会議（1/29） 意見交換テーマ『今後の特別支援教育について』</p> <p>内容 刈谷市立刈谷特別支援学校*が開校して約1年が経過し、特別支援学校の授業風景や医療的ケア、併設の小垣江東小学校の児童との交流などについて報告した他、意見交換を実施。</p>

#### 👁️ 刈谷市立刈谷特別支援学校\*



##### 目的

市外の特別支援学校へ長時間かけて通学する児童生徒の負担を軽減するとともに、障害のある子とない子が共に学ぶことができる環境を提供する。

##### 概要

刈谷市、知立市、高浜市在住で肢体不自由がある児童生徒が通学する刈谷市立の特別支援学校を、平成30年4月に開校した。

小垣江東小学校との併設という特長を活かし、児童生徒が共に学び、交流し、理解することができる環境を整えているほか、刈谷豊田総合病院と連携した医療的ケア体制を構築している。



## POINT

刈谷豊田総合病院と連携をした医療的ケア体制は、病院からの出向という形で、常駐看護師による医療的ケアを毎日実施している。従来の学校が雇う看護師の場合、看護師の欠員が出ると支援体制が不十分になる恐れがあるが、病院から学校へ出向する形態をとることにより、安定的にケアが提供できる。併せて、保護者が付き添う負担をできる限り軽減することもできる。これは、大きな病院が近くにある刈谷市ならではの試みである。

項目	内容		
研究 発表会	<p><b>刈谷南中学校(10/24)</b> 研究主題『自ら学ぶ生徒の育成～学びを深める授業を目指して～』</p>  <p><b>日高小学校(10/26)</b> 研究主題『自他の考えを大切に、主体的に学びを深める子の育成～聴いて・つないで・振り返る授業づくりを通して～』</p> <p><b>平成小学校(11/2)</b> 研究主題『教材・他者・自己との対話を通して、子どもの内面の成長を育む～テーマを追求する単元構想と授業展開を工夫して～』</p> <p><b>刈谷特別支援学校(2/22～23)</b> 研究主題『刈谷特別支援学校における実践研究（学校における医療的ケア実施体制構築事業を含む）』</p>		
	学校訪問	<p><b>目的</b> 学校の実態を把握するとともに、学校教育推進上の問題点について指導・助言し、現職教育の推進と充実を図る。</p> <p><b>訪問者</b> 教育長、教育委員、教育部長、学校教育課長、教育総務課長、指導主事等</p> <p><b>内容</b> 公開授業及び諸帳簿の点検</p> <p><b>着眼点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の心に寄り添う指導の展開状況</li> <li>・教職員の健康管理に向けた取組の状況</li> <li>・創意ある学校づくり及び教員の資質向上への取組の状況</li> <li>・児童生徒の自己肯定感と自己有用感を育む取組の状況</li> <li>・基礎的・基本的な事項の定着とそれらを活用する力を高める指導の工夫の状況</li> </ul> <p><b>実施校（研究発表校を除く学校）</b> 富士松東小（5/15）、雁が音中（5/28）、小高原小（5/31）、依佐美中（7/2）、住吉小（7/5）、東刈谷小（7/13）、衣浦小（10/10）、双葉小（10/11）富士松南小（10/15）、小垣江東小（10/18）、かりがね小（10/23）、亀城小（10/29）、朝日小（11/5）、小垣江小（11/8）、富士松北小（11/12）、富士松中（11/15）、朝日中（11/16）、刈谷東中（11/19）</p>	
			

項 目	内 容
式典	卒業式（中学校 3/5、小学校 3/20） 修了式（幼稚園 3/19）
意見 交換会	<p>●<b>地区別生活指導懇談会</b>（年 3 回） 北部（7/3）、南部（7/4）、中部（7/10）</p> <p>☐<b>内 容</b> 夏休み前に各中学校区内の青少年対策関係者が一堂に会し、学区内の園児・児童生徒の状況や地域の課題等について情報を共有し、協議を行う。</p>
研修視察	<p>☐<b>目 的</b> 教育行政・教育問題についての研修を通し、教育委員会の資質向上を図ることで、教育委員会運営の活性化を図る。</p> <p>☐<b>研修先</b> 安城市図書情報館（7/25）</p> <p>☐<b>研修内容</b> 安城市図書情報館の現状、基本方針、運営の他、特色ある施設・展示について見学。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>●愛知県市町村教育委員会連合会（7月）</li> <li>●西三河地方教育事務協議会（4月、5月、11月、2月）</li> <li>●西三河教科用図書採択地区協議会（5月、7月）</li> <li>●刈谷市奨学会（4月、10月、1月、3月）</li> <li>●刈谷市PTA連絡協議会（5月、12月）</li> <li>●刈谷市総合式典（5月）</li> <li>●刈谷市教育研究会（4月）</li> <li>●新成人の集い（1月）等</li> </ul> <div style="text-align: center;">  <p>【刈谷市総合式典】</p> </div>

---

## 第3章 総合計画に基づく施策の評価

---

基本施策 2 青少年育成

小 施 策 3) 青少年の自立支援と  
社会参加の促進

---



# 2-2 青少年育成

現状と課題

関連計画

第2次刈谷市生涯学習推進計画  
2005年～2014年  
刈谷市次世代育成支援行動計画  
2005年～2014年



めざす姿（生活像）・目標指標

用語解説

青少年期は、心身の発達に伴い、子どもから大人へと成長する時期であり、様々な悩みやかつ藤を経験し、社会の一員としての生活の基盤を確立し、社会へ貢献するとともに、能力や適正などに応じて活躍の場を広げていく時期です。

しかし、少子高齢化、核家族化、情報化、雇用形態の多様化など、青少年を取り巻く環境がめまぐるしく変化する中で、ニートやひきこもり数が高水準で推移するなど、青少年の社会的自立の遅れが深刻化しています。

また、青少年が被害者、加害者となる重大な事件が多発し、インターネットによる有害な情報が氾濫するなど、青少年の健全な成長に対する懸念が強まっています。

本市では、市民活動団体と連携し、放課後子ども教室、キッズクラブ、ヤングカレッジ事業など、青少年に多様な体験、学習機会と交流の場を提供しています。地域社会の中で、成長段階に応じて多様な体験を積み重ねることで、協調性や社会性を育み、青少年の健やかな成長と自立を支援しています。しかし、24時間型の社会の進行、あるいは家庭や地域の教育力の低下は、深夜はいかいや喫煙などの不良行為の増加の要因となっています。

親をはじめ家族にとっても、社会にとっても青少年は次代を担うかけがえのない存在です。今後も、学校、家庭、地域が連携して、社会全体で青少年の健全育成を図っていく必要があります。



めざす姿 ～まちの状態～	現状値	目標値		
		2015年	2020年	
●社会全体で青少年を愛情と思いやりと責任を持って温かく見守っています。	家族とよく話をする子どもの割合	90.1%	91%	92%
●青少年の体験活動の場に、地域住民が指導者やボランティアとして参加しています。	放課後などの交流拠点（居場所）数	7か所	17か所	19か所

めざす姿 ～市民の暮らし～	現状値	目標値		
		2015年	2020年	
●青少年が健やかに成長し、社会との関わりを持ち、自立しています。	地域の祭りや行事などに参加することが楽しいと思う子どもの割合	84.8%	86%	87%
●青少年が個性を発揮し、積極的に社会活動に参加しています。	青少年が参加する体験・交流活動参加延べ人数	5,905人	18,000人	20,000人

- 青少年育成……本計画においては、概ね未就学児を除く子ども・若者の範囲を想定。
- ニート（NEET）……Not in Education, Employment or Training の略。高校や大学などの学校及び予備校・専修学校などに通学しておらず、配偶者のいない独身者であり、ふだん収入を伴う仕事をしていない15歳以上34歳以下の個人。

### 1) 家庭教育の推進

2013 2016 2020

- |   |                                     |  |  |  |
|---|-------------------------------------|--|--|--|
| ① | 青少年の人間形成の基本となる家庭の役割の重要性について啓発に努めます。 |  |  |  |
| ② | 家庭教育に関する講座を開催するなど、明るい家庭づくりの推進を図ります。 |  |  |  |

### 2) 青少年を取り巻く環境の整備

2013 2016 2020

- |   |  |  |  |  |
|---|--|--|--|--|
| ① | 学校、家庭、地域が連携し、社会全体で青少年を健やかに育み、自立できる環境づくりを推進します。 |  |  |  |
| ② | 青少年の非行防止活動と有害環境の浄化活動を推進します。                    |  |  |  |
| ③ | 複雑化、多様化する青少年や家族からの相談に対応できる体制の充実を図ります。          |  |  |  |

評価対象

### 3) 青少年の自立支援と社会参加の促進

2013 2016 2020

- |   |  |  |  |  |
|---|--|--|--|--|
| ① | 青少年が社会活動に参加し、社会で生きる力や創造力を育めるよう、様々な体験や交流活動の場の提供と支援を図ります。    |  |  |  |
| ② | 地域におけるボランティア活動、異世代交流、社会体験など、青少年が主体的に携わることのできる活動への参加を推進します。 |  |  |  |



学校、家庭、地域などが当事者意識を持ち、それぞれの役割や責任を果たすとともに、相互に協力、補完し合い、青少年の健全育成に努めます。



#### 市民の役割

自らが青少年に規範を示すとともに、青少年に基本的な生活習慣や社会のルールやマナーを身につけることができる家庭教育の推進に努めます。

自 助



#### 団体・事業者などの役割

地域全体で青少年の健全な成長を見守る環境の醸成に努めます。また、事業者は教育力や資源を活用し学習機会を提供するなど、地域の教育力の向上に努めます。

互 助



#### 行政の役割

青少年健全育成施策を推進するとともに、学校、家庭、地域などと連携して青少年の自立支援を行います。

公 助

## ■施策評価シート

小施策

『青少年の自立支援と社会参加の促進』

## ■事務事業評価シート

- ・放課後子ども教室推進事業
- ・キッズクラブ事業
- ・青年講座開催事業
- ・成人式開催事業
- ・中高生の居場所づくり事業
- ・子ども・若者支援地域協議会

施策の内容(小施策)	青少年の自立支援と社会参加の促進	担当課	生涯学習課
		関係課	

●目標指標

	現状分析	名称	単位	実績値			目標値	
				28年	29年	30年	令和2年	
(1)	◎	成果	放課後子ども教室参加延べ人数	人	23,371	25,102	27,551	30,000
(2)	○	成果	キッズクラブ参加延べ人数	人	1,105	931	982	1,000
(3)	◎	成果	青年講座受講延べ人数	人	327	205	504	500
(4)	△	成果	成人式参加率	%	73.0	71.3	67.8	73

【注】 ◎…上昇傾向、○…横ばい、△…下降傾向

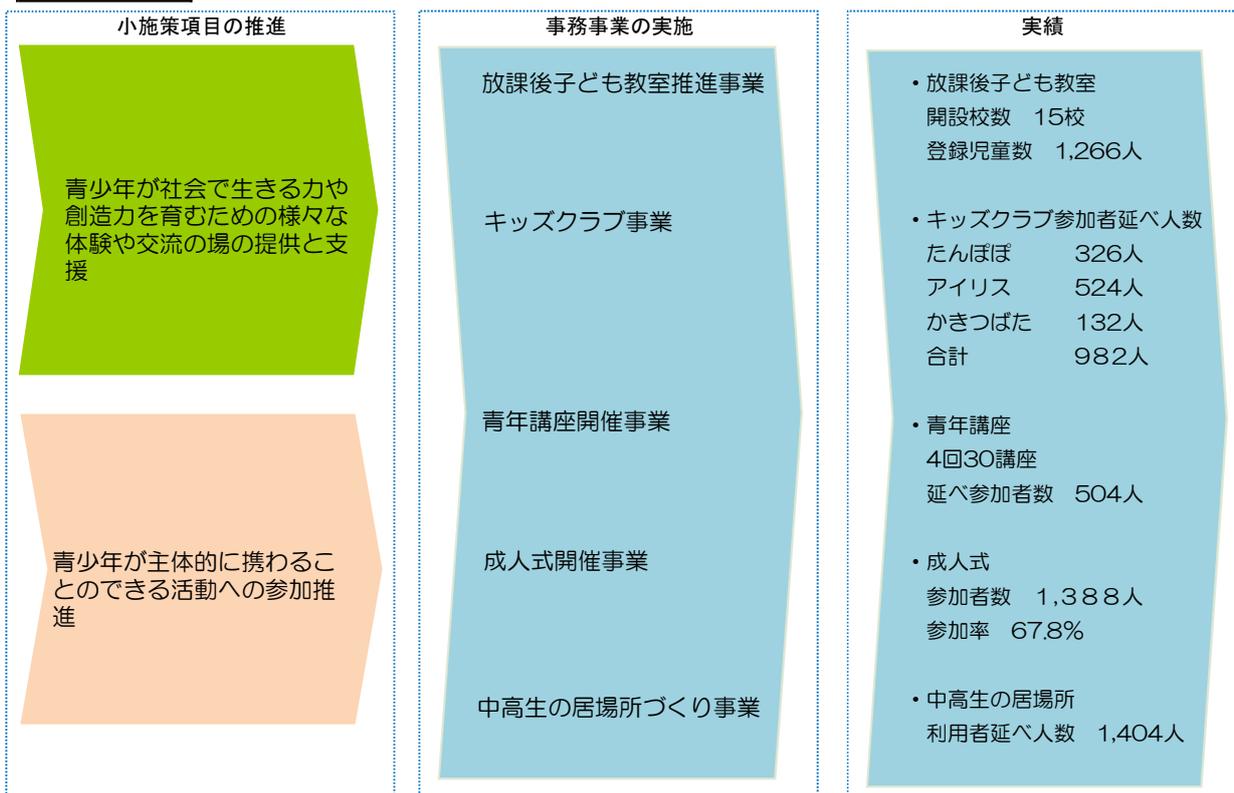
●他市町村との比較検証

比較項目	放課後子ども教室開設率					単位	%
刈谷市	碧南市	安城市	西尾市	知立市	高浜市		—
100%	14.29%	14.29%	52.00%	100%	100%		
備考							

比較項目	青年講座開催数					単位	講座
刈谷市	碧南市	安城市	西尾市	知立市	高浜市		—
4講座	無	5講座	無	無	無		
備考							

比較項目	成人式実行委員会の組織の有無(上段)人数(下段)					単位	人
刈谷市	碧南市	安城市	西尾市	知立市	高浜市		—
有	有	有	有	有	有		
22人	10人	21人	19人	12人	26人		
備考							

事業実績



## 成果と課題

成果	課題の整理
<ul style="list-style-type: none"><li>◆学童期から、各年代の成長段階に応じた事業を、学校・家庭・地域の参画を得て実施し、切れ目のない居場所づくりができています。</li><li>◆地域の方との交流や様々な体験活動を通じて、青少年の自立を支援し、社会で生きる力や創造力を育む環境づくりができています。</li><li>◆青少年に多様な活動機会の場を提供し、生涯学習やボランティア活動への参加促進を図ることができています。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○事業の担い手としての人材確保や、ボランティア育成の方法を検討していく必要がある。</li><li>○ハローワークやサポートステーションなどと連携して、就労支援につなげる仕組みづくりの検討をしていく必要がある。</li></ul>

## 今後の方向性

青少年の自立支援と社会参加の促進のため、今後も様々な事業を推進する。

市内全小学校においては放課後子ども教室の推進に努め、放課後児童クラブとの連携について検討する。

また、子どもたちが心豊かで健やかに育まれるための休日の居場所づくりの提供や青少年の学習・活動意欲の向上ため、魅力的な講座の開催に努める。

その他にも、中高生が放課後に気軽に立寄ることのできる居場所を提供するとともに、ボランティア活動や地域活動など中高生の社会参加を支援し、平成30年度に設置した、刈谷市子ども・若者支援地域協議会により、近年、社会生活を円滑に営む上での困難（ひきこもり、ニート、不登校など）を有する子ども・若者の問題に対して、早期の発見や対応を可能にできるよう、また継続的な支援ができるよう、より総合的な支援体制の構築をめざし、総合相談窓口の開設に向けて、開設場所、受託機関の選定をはじめ、開設規模や居場所の併設、訪問支援などについて検討していく。

## 放課後子ども教室推進事業

### 【目的】

子どもたちに放課後の安全・安心な居場所を設け、地域の方々に参画を得て、遊びや学習、体験活動、地域住民との交流等の取組みを行う。

### 【参加者】

小学校 1～6 年生

(参加を希望する児童)

### 【開催日時】

月・木曜日を中心に週 1 回程度

下校時～午後 4 時 30 分



教室での学習支援

### 平成 30 年度放課後子ども教室登録及び参加状況

		登録人数(人)		前年度 登録人数 (人)	参加率(%)			登録人数(人)		前年度 登録人数 (人)	参加率(%)	
		A	計 (前年度増減)					A	計 (前年度増減)			A
亀城	A	47	81 (+19)	62	42.2			富士松北	A	59	58	53.3
	B	34										
小高原	A	43	88 (-2)	90	43.4			富士松東	A	33	62	41.8
	B	45										
日高	A	59	109 (+17)	92	43.0			小垣江	A	53	89	56.8
	B	50										
衣浦	A	33	90 (-8)	98	47.8			小垣江東	A	38	/	63.2
	B	57										
住吉	A	31	80 (-17)	97	40.3			双葉	A	45	107	45.1
	B	49										
かりがね	A	50	84 (-5)	89	47.2			東刈谷	A	36	84	41.7
	B	34										
平成	A	50	50 (+3)	47	54.1			朝日	A	44	75	48.0
富士松南	A	54	104 (-3)	107	42.1			B	40			
	B	50								52.8		

地域の方々を講師にした体験学習



【折り紙遊び】



【ダンス】



【英語で遊ぼう】



【抹茶体験】



【お手玉】

会計名			放課後子ども教室推進事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	青少年係		
10	6	5								
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	青少年育成							
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進							
	目的	学校、家庭、地域が連携して放課後の子どもの安全・安心な居場所を設け、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	主たる内容	地域の方々の参画を得て、遊びや学習、体験活動、地域住民との交流等の取組を行う放課後子ども教室を開設する。 ○缶バッジ作り ○クリスマスグッズ作り ○抹茶体験 ○折り紙遊び ○英語遊び ○ニュースポーツ ○ダンス ○キッズヨガ など						
	位置づけ	関連計画	子ども・子育て育成支援事業計画、刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	放課後子ども総合プラン推進事業実施要綱、刈谷市放課後子ども教室事業実施要綱							
		対象者	各小学校に在籍する児童	事業期間	平成20年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B事業 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		【既設校】 亀城小、小高原小、日高小、衣浦小、住吉小、平成小、富士松南小、富士松北小、富士松東小、小垣江小、双葉小、東刈谷小、朝日小 【新設校】 かりがね小		【既設校】 亀城小、小高原小、日高小、衣浦小、住吉小、かりがね小、平成小、富士松南小、富士松北小、富士松東小、小垣江小、双葉小、東刈谷小、朝日小		【既設校】 亀城小、小高原小、日高小、衣浦小、住吉小、かりがね小、平成小、富士松南小、富士松北小、富士松東小、小垣江小、双葉小、東刈谷小、朝日小 【新設校】 小垣江東小		市内全小学校（15校）で実施		
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>体験活動や地域住民との交流を通して、子どもの社会性を育む機会を提供することができた。</li> <li>学年、学級を超えた集団遊び等を通して、子ども同士の関わり方を学ぶことができた。</li> <li>学校生活に慣れない子どもたちにも、学校に来る楽しみや元気を与えることができた。</li> </ul>								
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>教室のスペースに限りがあるため、登録者の受入れを工夫する必要がある。</li> <li>放課後子ども教室の開設に伴い、コーディネーター等多数の地域の人材が必要となる。</li> <li>開設校を増やしたことに伴う事務量増加に対し、実績報告や管理等方法の工夫が必要となる。</li> <li>一部体験教室の合同開催について児童クラブと相互理解を深め、連携の強化を図る必要がある。</li> </ul>								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
活動指標		開設校数（校）		14	14	15	15	15		
成果指標		登録児童数（人）		1,183	1,157	1,266	1,350	1,350		
他市との比較検証		開設状況 知立市：7校中7校、週5日、安城市：21校中3校、週1日、碧南市：7校中1校、週3日、各市とも小学校の空き教室で開設。高浜市：5校中5校、週5日小学校のグラウンドで開設（雨天時は体育館）								
C事業 コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		21,796	21,703	24,880	28,064	合計	24,880,193円		
	財源	特定財源	12,643	12,584	12,480	16,150	賃金	3,262,860円		
		一般財源	9,153	9,119	12,400	11,914	報償費	19,255,600円		
	職員人件費②		4,845	4,730	4,706	5,418	需用費	539,570円		
	総事業費（①+②）		26,641	26,433	29,586	33,482	役務費	422,289円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0		放課後子ども教室推進事業費補助金						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			放課後子ども教室推進事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	児童が心豊かで健やかに育まれる環境整備推進のため、遊び、学び、体験、地域の方々と交流する場として、放課後の安全・安心な居場所づくりは必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		普通	既存の学校施設を利用すること、また、地域の方々をスタッフとして活用することにより、効率的な事業の推進を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	本事業を実施するにあたっては学校関係者との連携、協力は必要であり、行政が主体となって積極的に関与することが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	本事業に参加することにより、児童は日常的に交流することが少ない異年齢の子どもたちや地域の方々と接する機会ができ、本施策の青少年育成に寄与している。
	今後の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	30年度9月に小垣江東小において新設し、市内全小学校での開設が完了した。既設校についても、開設場所の確保やスタッフの養成を継続的に行い、円滑な運営維持に努める。放課後児童クラブとの総合プランにおいては、一体型の開催等の検討事項を勧奨し、事業の推進を図る。				

## キッズクラブ事業

### 【目的】

キッズクラブは、子どもたちが週末などに学年の違う子と自由に遊んだり、地域の人々と交流できる機会を設け、人付き合いについて学んだり、自分の考えをしっかりと伝える力などをはぐくむことを目的としています。

### 【日時・場所】

6月から3月までの第1、2、3土曜日に実施しています。

#### キッズクラブ たんぽぽ

南部生涯学習センター  
野田町西田 78-2  
TEL 62-8555

#### キッズクラブ アイリス

総合文化センター  
若松町 2-104  
TEL 21-7430

#### キッズクラブ かきつばた

北部生涯学習センター  
井ヶ谷町松ヶ崎 6-26  
TEL 36-0112



自然で遊ぼう  
自然のことを学びます



KODOMO遊び隊  
毎回違った体験活動ができます



レッツスイーツ  
楽しくスイーツを作ります

### 【委託先】

子育て・子育てNPOスコップ

【自然で遊ぼう】  
自然の中で、元気よく遊びます



【レッツスイーツ】  
楽しくスイーツを作ります

【ゲームで一緒に遊ぼう】  
ボードゲームに挑戦



【レッツ アクティビティ】  
吹き矢に挑戦

会計名 一般会計			キッズクラブ事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	5					担当係	青少年係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	青少年育成							
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進							
	目的	週末に子どもの安全・安心な活動拠点を設け、遊び、文化活動等の体験活動を通じ、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	主たる内容	小・中学生を対象に市内3箇所の生涯学習センターでキッズクラブを開設し、子どもたちが安心して集うことができる居場所を提供する。 ○開催場所 ・たんぼぼ 南部生涯学習センター ・アイリス 刈谷市総合文化センター ・かきつばた 北部生涯学習センター ○開催日 6月から3月 月3回土曜日の午前または午後						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令		放課後子ども総合プラン推進事業実施要綱、刈谷市キッズクラブ事業実施要綱						
		対象者	市内在住の小・中学生	事業期間	平成17年度～					
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		【参加者延べ人数】 ・たんぼぼ 586人 ・アイリス 302人 ・かきつばた 217人 合計 1,105人		【参加者延べ人数】 ・たんぼぼ 372人 ・アイリス 371人 ・かきつばた 188人 合計 931人		【参加者延べ人数】 ・たんぼぼ 326人 ・アイリス 524人 ・かきつばた 132人 合計 982人		【参加予定人数】 ・たんぼぼ 400人 ・アイリス 400人 ・かきつばた 200人 合計 1,000人		
成果		創作活動、自然体験など、様々な活動を通して地域住民や異世代交流を図るとともに、週末の安全・安心な居場所を提供する事ができた。								
課題		ほとんどのプログラムは、申込不要であるため、参加児童に対するスタッフの過不足が生じる。また、各会場により事業の認知度に基づく参加者数の差が生じている。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
活動指標	開催数（回）		80	80	80	80	80			
成果指標	参加者数（人）		1,105	931	982	1,000	1,000			
他市との比較検証	高浜市は1校のみPTA土曜クラブに委託し、家庭科、書道、剣道、ちぎり絵、フルートの5クラブ制で開催している。									
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①		2,779	2,807	2,899	2,957	合計		2,899,497 円	
	財源	特定財源	1,147	1,124	1,177	1,360	委託料			2,899,497 円
		一般財源	1,632	1,683	1,722	1,597				
	職員人件費 ②		1,719	1,628	1,620	1,625				
	総事業費（①+②）		4,498	4,435	4,519	4,582				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0		放課後子ども教室推進事業費補助金						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			キッズクラブ事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境整備推進のため、遊び、学び、体験、地域の方々と交流する場として土曜日の安全・安心な居場所づくりは必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		普通	子育て支援に精通したNPOに運営を委託すること、また、地域の大学生をスタッフとして活用することにより、効率的な事業の推進を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	土曜日に子どもたちが気軽に安心して参加できる居場所である必要があるため、各生涯学習センター内に開設し市が関与することが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	本事業に参加することにより、子どもたちが日常的に交流することの少ない異年齢の子どもや地域の方々と接する機会ができ、本施策の青少年育成に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、子どもたちが心豊かで健やかに育まれるための土曜日の居場所づくりを行っていく。また、子どもたちが継続的に参加したくなる魅力的な活動内容の検討や周知方法の改善、大学生スタッフの確保に努めていく。					

## 青年講座開催事業

### ●平成30年度青年講座（4講座）

#### ○青年講座Ⅰ（6～7月）

『やってみよう！おうちでランチおもてなし』（全8回）



受講者 32人



#### ○青年講座Ⅱ（8～10月）

『ハンドメイド作家さんに教わる

竹籠細工と革雑貨づくり』（全8回）

受講者 5人



○青年講座Ⅲ（10～12月）

『やってみよう！初めてのフードアート』（全8回）

受講者 20人



○青年講座Ⅳ（1～2月）

『一眼レフ初心者のためのフォトレッスン』（全6回）

受講者 20人



会計名			青年講座開催事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	青少年係	
10	6	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	青少年に多様な学習・体験活動の機会の場を提供し、生涯学習の推進、ボランティア活動への参加促進を図る。		主たる内容	市内在住・在勤または在学の18歳～39歳の青少年を対象に、文化・芸術・福祉・スポーツなどの各種講座を開催する。 8回連続講座 年4回開催				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内在住・在勤・在学の18～39歳		事業期間	平成7年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・青年講座4回32講座 第1回 Clean up the body and soul 8講座 第2回 大人から始めるダンス講座 8講座 第3回 生涯学習リダー企画 8講座 第4回 歌って笑顔になろう 8講座 受講生延べ327人		・青年講座4回32講座 第1回 体に優しい野菜とお米のスイーツづくり 8講座 第2回 筆ペンで書いて伝える想いや気持ち 8講座 第3回 初心者のためのHip-Hop 8講座 第4回 憲俊流剣術殺陣の会 8講座 受講生延べ205人		・青年講座4回30講座 第1回 やってみよう！おうちでランチ、おもてなし 8講座 第2回 竹籠細工と革雑貨づくり 8講座 第3回 やってみよう！はじめてのフードアート 8講座 第4回 一眼レフ初心者のためのフォトレッスン 6講座 受講生延べ504人		・青年講座4回32講座	
成果		・青少年に多様な学習、体験活動の機会の場を提供することができた。 ・講座終了後に受講生が交流会を持つ等、仲間づくりの場を提供することができた。							
課題		・自主活動や生涯学習につながる講座を企画する必要がある。							
O 実施 V	指標名称（単位）			実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
	活動指標	募集案内配布事業所数（ヶ所）		42	42	42	42	45	
成果指標	受講者数（人）		61	36	77	80	80		
	他市との比較検証								
C 事業コスト V	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		556	547	433	739	合計	432,626 円	
	財源	特定財源	15	20	65	144	報償費	304,000 円	
		一般財源	541	527	368	595	需用費	3,176 円	
	職員人件費 ②		3,673	3,412	3,395	3,251	使用料及び賃借料	125,450 円	
	総事業費（①+②）		4,229	3,959	3,828	3,990			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		青年講座受講料					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			青年講座開催事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	青少年の生涯学習の推進、ボランティア活動への参加の促進のため、気軽に参加できる多様な学習・体験活動の場を提供することが必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	講師経験の豊富な人材に講師を依頼することで、学びの質の向上に繋がっている。公共施設内の空き部屋を積極的に利用することで、施設の有効活用ができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	青少年の学習機会の拡大のため、仕事や学校帰りに参加のしやすい場所であること、また気軽に参加できる料金設定であることが必要であるため、公共施設内で開催し、市が実施することが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	多様な学習機会を提供し、青少年の生涯学習の推進に寄与している。講座終了後も受講生同士や受講生と講師との交流が持たれ、仲間づくりに繋がっている。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、多様な学習・活動体験の場を提供する。青少年の学習・活動意欲の向上のため、魅力的な講座内容や講師の選定に努める。					

## 成人式開催事業

### ●平成30年度成人式

【日 時】 平成31年1月13日（日）13時30分～

【場 所】 刈谷市総合文化センター

【対象者】 2,048人

【参加者】 1,388人（参加率67.8%）

【実行委員】 22人（実行委員会 13回）



実行委員会の様子





会計名			成人式開催事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	青少年係		
10	6	5								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	青少年育成							
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進							
	目的	刈谷市成人式実行委員会との共催で成人式を開催し、次代を担う新成人の門出を祝福するとともに、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする意欲の向上を図る。				主たる内容	新成人の中から実行委員会を組織し、式の企画、運営を行い、心に残る成人式を開催する。			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	新成人(平8.4.2~平9.4.1生)			事業期間	~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		開催日	平成29年1月8日	開催日	平成30年1月7日	開催日	平成31年1月13日	開催日	平成32年1月12日	
会場		刈谷市総合文化センター	会場	刈谷市総合文化センター	会場	刈谷市総合文化センター	会場	刈谷市総合文化センター		
対象者数		1,843名	対象者数	1,669名	対象者数	2,048名	対象者数	約1,850名		
参加者数		1,345名	参加者数	1,190名	参加者数	1,388名				
成果		成人式を行うことにより、新成人が恩師や旧友らと話し合う機会となり、大人として今後どのように生きていくかを語るきっかけとなった。 実行委員会により自主的な式の企画・運営を行うことにより、社会参加の機会を提供することができた。								
課題		・実行委員の募集について学校の推薦に頼るところが多く、学校側の負担感が増しているため、公募による確保に移行できるように実行委員会の魅力発信に検討を要する。								
指標名称（単位）					実績値			目標値		
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標		協力ボランティア(THE成人・次年度実行委員)の参加人数(人)				30	40	31	48	48
成果指標	成人式参加率(%)				73.0	71.3	67.8	73	73	
他市との比較検証	知立市、安城市、碧南市、高浜市、東浦町は成人式実行委員会を組織し、実施している。									
C 事業コスト	単位：千円		28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)	30年度事業費内訳			
	事業費①		4,007	3,797	3,978	4,663	合計	3,977,583円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	3,361,253円		
		一般財源	4,007	3,797	3,978	4,663	使用料及び賃借料	616,330円		
	職員人件費②		3,908	4,808	4,784	5,031				
	総事業費(①+②)		7,915	8,605	8,762	9,694				
	建設事業	全体事業費(単位：千円)			0	30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費			0					
2年度以降の事業費見込			0							

会計名			成人式開催事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	新成人が恩師や旧友と再会し、成人になるにあたっての決意や自覚を認識し合う機会として社会的に必要とされており、また刈谷市への愛着を育む機会としての役割も担っている。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	新成人により組織される実行委員会を中心として企画・運営を行うことで、新成人がこぞって参加できる魅力的な成人式が開催できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	実行委員の確保や当日の恩師の参加にあたり学校関係者との調整・連携が必要であること、市内の新成人が参加できる会場が必要であることから、市が主体となって開催することは妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	実行委員の自主性を育むとともに、社会参加を促すことができる。また、同じ新成人が実行委員として運営することで、参加者の意識向上にもつながる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、新成人の門出を祝福し、大人としての自覚を促す機会として、成人式を開催する。 令和4年4月に施行される改正民法による成人年齢の引き下げ後も、成人式は20歳を対象として開催する。					

## 中高生の居場所づくり事業

中高生の居場所

# なごみんはあと

とは

中学生・高校生が放課後に気軽に立ち寄ったり、集まった仲間と交流できる場所、仲間どうしで話をしたり、学習をしたりできます。また、大学生スタッフと、ゲームをして遊んだり、勉強をしたり、悩み事の相談もできます。

【日 時】 毎週火曜日・木曜日（祝日、年末年始を除く）

16時～21時

【場 所】 刈谷市総合文化センター 1階 談話コーナー

なごみんはあとでは、学習支援も行っています。

## なごみん塾

「家では勉強に身が入らない」

「分からないところを教えてほしい」

「受験までの勉強方法が分からない」

などのお悩みをお持ちの中高生の皆さん、

『なごみん塾』に勉強しにきませんか？

開催場所 刈谷市総合文化センター 3階談話コーナー

開催日時 毎週火・木曜日 18時～20時

【参加者】 平成30年度利用者 延べ1,404人

【委託者】 子育て・子育てNPOスコープ



会計名 一般会計			中高生の居場所づくり事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	5					担当係	青少年係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	青少年育成							
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進							
	目的	中高生が放課後等に気軽に集まることができる居場所を提供する。また、中高生自らイベントの企画運営に携わることができる機会を提供することにより、中高生の自立を支援する。	主たる内容	放課後に気軽に立ち寄り、学習や交流ができる中高生のための居場所を提供し、声かけや悩み等の相談対応、自主的な活動への支援を行う。大学生をピアカウンセラー（仲間として相談に応じる人）や学習支援を行うスタッフとして配置する。 ○場所 総合文化センター内談話コーナー ○開催日 毎週火・木曜日 16時～21時						
	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画								
	根拠法令	子ども・若者育成支援推進法								
	対象者	市内在住または在学の中高生		事業期間	平成22年度～					
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・利用者数 延べ568人 ・実施したイベント 「苦手な英語がちょっと好きになる講座」始め9事業 イベント参加者数 延べ51人		・利用者数 延べ763人 ・実施したイベント 「多目的ホール開放」始め5事業 参加者数 延べ87人		・利用者数 延べ1,404人 ・実施したイベント 「多目的ホール開放」始め3事業 参加者数 延べ86人		・利用者数 延べ1,200人		
成果		仲間同士や大学生スタッフとの交流を深める中で、中高生が気軽に立寄ることができる居場所づくりができた。学習支援を併設し、利用目的を増やしたことにより、利用の活性化を図ることができた。								
課題		中高生の自主性や社会性を育む自主活動につながるイベント等の仕掛けが必要である。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
成果指標		延べ利用者数（人）		568	763	1,404	1,200	1,200		
成果指標		中高生が関わったイベントの回数（回）		3	9	13	15	15		
他市との比較検証		碧南市、高浜市が類似の事業を実施している。								
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,920	1,969	2,043	2,485	合計	2,043,479 円		
	財源	特定財源	0	114	220	470	委託料	2,043,479 円		
		一般財源	1,920	1,855	1,823	2,015				
	職員人件費 ②		2,501	2,171	2,160	1,935				
	総事業費（①+②）		4,421	4,140	4,203	4,420				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費		0		地域未来塾等学校支援活動事業費補助金				
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			中高生の居場所づくり事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	地域でのコミュニケーションの欠如、若者の自立の遅れ等、社会環境が変化する中、中高生が気軽に立寄り社会参加できる場所が必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		普通	大学生をピアカウンセラーとして養成し、大学生自身の意識、能力向上に繋げ、またその大学生をスタッフとして配置することで事業の効果が期待できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	中高生が放課後等に気軽に立ち寄るなかで交流を深め、悩み事を安心して相談できる環境づくりが必要であるため公共施設内に開設し市が関与する事が妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	安心して過ごせる居場所を設け、同世代の仲間との交流や悩みの相談等を行うことで、中高生の自立を支援することができる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
<p>引き続き、中高生が放課後に気軽に立寄りることのできる居場所を提供するとともに、ボランティア活動や地域活動など中高生の社会参加を支援する。また、ピアカウンセラーもしくは学習支援員としての大学生スタッフの確保に努める。引き続き、学習支援を実施し、利用の活性化を図りたい。</p>					

## 子ども・若者支援地域協議会

### 【目 的】

社会生活を円滑に営む上で悩みや課題を抱える子ども・若者とその家族に対し、教育、福祉、保健、医療、雇用等の関係機関や団体等が連携することにより、効果的で円滑な支援を行えるようにするため。

### 【設置年月】

平成30年5月24日

### 【平成30年度実績】

平成30年 5月28日(月)	第1回子ども・若者支援地域協議会 ・刈谷市子ども・若者支援地域協議会の設置について ・子ども・若者支援フォーラムの開催について ・刈谷市子ども・若者支援マップの作成について
6月21日(木)	第2回子ども・若者支援地域協議会 ・子ども・若者支援フォーラムの開催について ・子ども・若者支援マップの作成について
7月30日(月)	第3回子ども・若者支援地域協議会 ・子ども・若者支援フォーラムの開催について ・子ども・若者支援マップについて
9月2日(日)	子ども・若者支援地域フォーラム 参加者79人 ・講演「居場所と出番のある暮らし～ひとりぼっちをつくらない社会を考える～」 NPO法人つむぎの森代表理事 豊永利香氏 ・刈谷における若者支援の取り組み紹介 ・子ども・若者支援 テーマ別交流会(5テーマ) ①家族支援と家族会              ②若者の居場所づくり ③社会参加と就労支援          ④保健と医療と福祉 ⑤孤立しがちな人への支援(外国人・貧困など)
9月20日(木)	第4回子ども・若者支援地域協議会 ・子ども・若者支援フォーラムの振り返りについて ・今後の刈谷市子ども・若者支援地域協議会について

【平成31年度予定】

令和元年 6月11日(火)	第1回子ども・若者支援地域協議会 ・委員長・副委員長の選任について ・今年度の予定について ・子ども・若者支援シンポジウムの開催について ・刈谷市子ども・若者支援マップの更新について
8月6日(火)	第2回子ども・若者支援地域協議会 ・子ども・若者支援シンポジウムの開催について ・ケース検討会①
9月1日(日)	子ども・若者支援シンポジウム 場所:総合文化センター ・棚園正一氏(漫画家)による講演 ・地域協議会委員等によるパネルディスカッション
10月	第3回子ども・若者支援地域協議会 ・子ども・若者支援シンポジウムの振り返りについて
令和2年 2月	第4回子ども・若者支援地域協議会 ・ケース検討会② ・今後の刈谷市子ども・若者支援地域協議会について

●平成30年度 子ども・若者支援地域フォーラム



## 第4章 外部評価委員の意見

教育委員会の活動状況	担当課	教育総務課
<b>外部評価委員からの意見</b>		
<b>現状の評価</b> ※現在の活動状況に対する意見		
<p>まず、教育委員会の構成については、保護者代表の委員も含まれ適正である。定例会及び臨時会も計画的に開催されている。また、定例会の折には、「学校で対応に苦慮している案件」については、委員に報告することで、学校の実情の理解につながる。</p> <p>次に、研究発表会及び学校訪問にも委員が参加し、子どもと給食を一緒に取りながら、子どもの意見把握や理解に努めたり、教職経験年数の浅い教員と直接やりとりしたりする機会を設けていることは高く評価できる。</p> <p>最後に、総合教育会議で、刈谷市教育の新たな目玉である刈谷特別支援学校の取り組みについてをテーマに意見交換したことも有意義なことである。</p>		
<b>今後の方向性</b> ※今後の教育委員会活動をより良くするために必要なこと		
<p>刈谷特別支援学校では、刈谷豊田総合病院と連携した医療的ケアを実施しているということで、学校に正規の看護師が常駐しているということは、心強いことだと思う。</p> <p>また、隣接する小垣江東小学校との交流は、子どもの成長によい効果を上げているので、この交流をさらに市内の小中学校に広げて、刈谷の特別支援教育の特色となればよいと思う。</p>		
<b>その他意見等</b>		
<p>近隣市の優れた施設や施策について知る機会である研修視察は、今後も充実されるとよい。</p>		
<b>総 評</b> ※活動全体についての意見		
<p>精力的に活動できており、刈谷市教育の一層の充実を期待できる。</p>		
<b>市の考え方</b>		
<p>教育委員会の活動状況においては、引き続き、定例会等の教育委員会会議を計画的に開催し、教育委員会の効率的かつ効果的な運用を図ります。</p> <p>また、学校訪問等の各種活動に積極的に参加し、児童・生徒と直接ふれあいながら、教育行政の課題について活発な意見をいただける環境づくりに努めてまいります。</p>		

基本施策	青少年の自立支援と社会参加の促進	担当課	生涯学習課
<b>外部評価委員からの意見</b>			
<b>内部評価の妥当性 ※事務事業評価結果（内部評価）の妥当性について</b>			
<p>「放課後子ども教室推進事業」に関しては、全小学校で開設し、異年齢交流や放課後の安全・安心な居場所づくりとなっており高く評価できる。</p> <p>「キッズクラブ事業」に関しては、30年度は僅かに目標値に達していないが、多様な体験の機会を工夫されており、評価は適切である。</p> <p>「青年講座開催事業」に関しては、青年のニーズに合った講座が開催され、30年度は前年度の約2.5倍近い受講者があり、かつ目標値にも達しており評価は適切である。</p> <p>「成人式開催事業」に関しては、意義のある取組であるが、実行委員への応募者や参加率も下降傾向にあり、事業の在り方をさらに工夫する必要がある。</p> <p>「中高生の居場所づくり事業」に関しては、30年度は利用者も約倍増し、塾も開くなど塾に通うことができない中高生のサービスとなっており高く評価できる。</p> <p>「子ども・若者支援地域協議会」に関しては、30年度に設置されたこともあり、今後、目的にそった活動が展開できているか検証していく必要がある。</p>			
<b>今後の方向性 ※今後事業をより良くするために必要なこと</b>			
<p>各事業では、ボランティアスタッフの確保がポイントである。広く広報をすることで、リタイア世代の確保や刈谷市の特色の一つである教育大学があることを生かし、学生ボランティアのさらなる確保を目指したい。</p> <p>より多くの子どもや青年が参加できるように、広報の方法をさらに工夫してほしい。</p>			
<b>その他意見等 ※施策全体についての意見</b>			
<p>事業の評価の視点として、「必要性」「効率性」「妥当性」に加え、「施策への貢献度」を視点としている点は、この施策が、市民生活にどのように役立っているのかの評価であり重要である。</p>			
<b>総 評</b>			
<p>学校教育に比べ、一般的に対象が捉えにくい青少年育成、特に「青少年の自立支援と社会参画の促進」について、きめ細かな事業が展開できており評価できる。これらの事業を通して、社会問題化しているニートやひきこもりを少しでも減らし、社会貢献の道を拓くことを期待している。</p>			
<b>市の考え方</b>			
<p>今後も青少年の自立支援と社会参加の促進のため、様々な事業を推進し、ボランティアの確保に努め、SNSなども使って広報していきます。また、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者（ニート、ひきこもり、不登校など）の問題に対して、早期発見や対応を可能とし、また継続的な支援ができるよう、総合相談窓口の開設に向けて検討していきます。</p>			

## 【参考資料】

### 1 教育大綱 平成28年度～令和2年度（平成32年度）

#### 育てたい子ども像

「自己肯定感と自己有用感に支えられ、確かな学力と体力を身に付けた、当たり前前（あたりまえ）のことが当たり前前（あたりまえ）にできる子ども」

# 知

## 『確かな学力の定着』

- きめ細やかな学習指導による基礎・基本の習得
- 学ぶ意欲を高めるための指導方法・指導体制の工夫・改善
- 教科指導の充実
- 教育の情報化による学習指導の向上



## 『豊かな心の育成』

# 徳

- 自己肯定感・自己有用感を高め、命を大切にする心や思いやる心の育成
- 規範意識の醸成
- 情操教育・豊かな体験活動・文化芸術環境の充実
- 刈谷のまちの歴史文化に誇りを持ち、大切にする心の育成

# 体

## 『健やかな身体づくり』

- 体力の向上
- 食育の推進
- 健康の増進



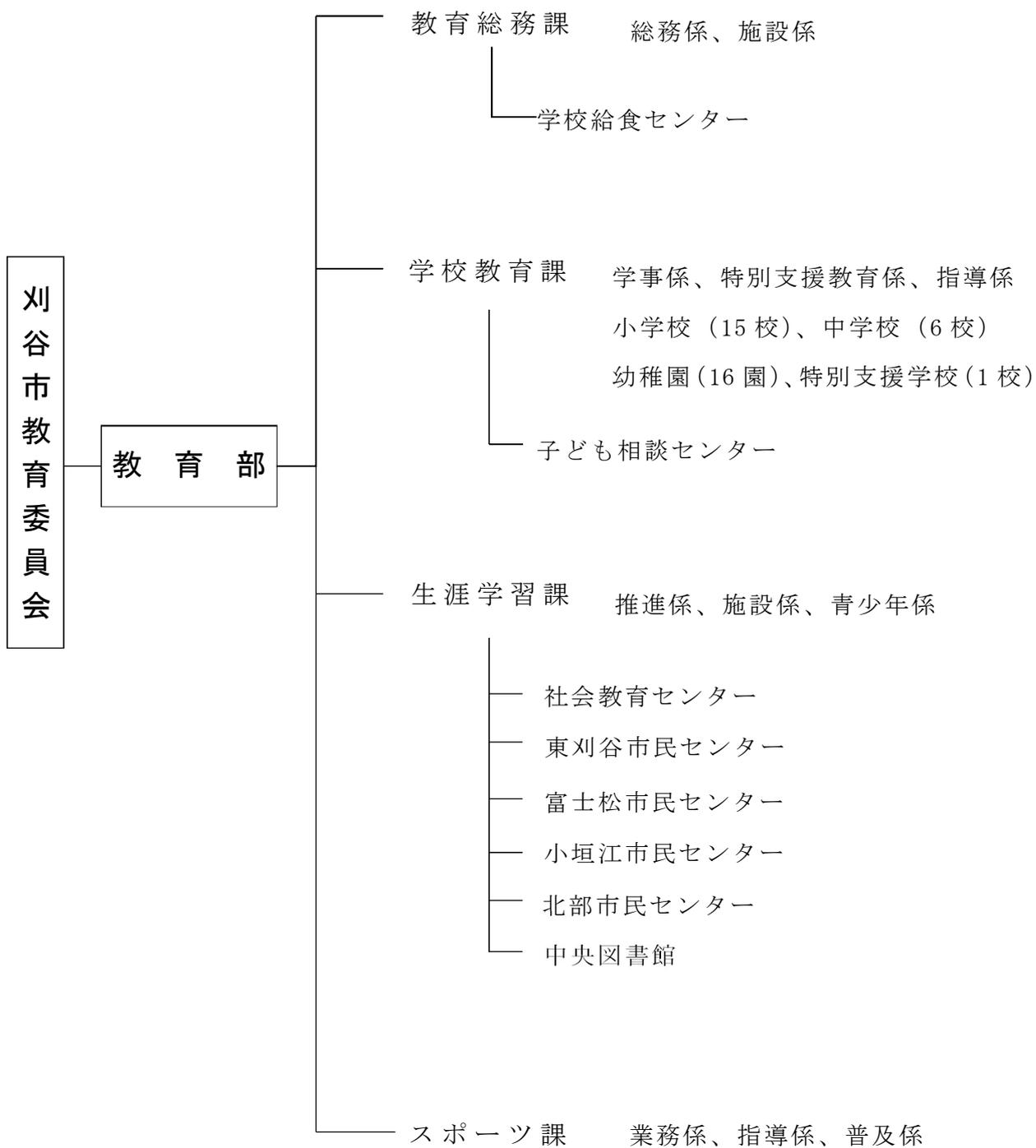
## 『学習環境整備・安心安全確保』

# 環

- 快適で安全な教育環境の整備
- 学習しやすい環境の確保
- 学校の安心・安全確保
- 青少年の健全育成

## 2 組織

(平成31年4月1日現在)





令和元年度（平成30年度事業対象）  
刈谷市教育委員会点検・評価 報告書

編集・発行 刈谷市教育委員会 教育総務課  
〒448-8501 刈谷市東陽町1丁目1番地  
電話 (0566) 62-1034 (ダイヤル) / FAX (0566) 25-1006